

感のある京町家とその町並みを形成した。コミュニティ主体のまちづくりは、近代における日本最初の小学校建設や、現代のまちづくり、京町家再生の活動などへ、^{えいせんめん}連綿と受け継がれ、これもまた京都の伝統となっている。

このように京都の町々では、1200年をこえる長い歴史に培われた多彩な文化が歴史的風致の背景となり、日々の暮らしや生業などの営みをとおして京都にしかみられない品格と風情を醸し出している。

それぞれの時代の特色を帯びた情趣豊かな町々と歴史的建造物が、ともに山紫水明の自然に包まれて「重ね」（重層）と「合わせ」（対比）の模様を描いている融和の姿こそ、日本にも、また世界にも類を見ない京都らしい歴史的風致である。

2 京都市の維持向上すべき歴史的風致

全体像で述べているように、京都は1200年を超える歴史のなかで各時代の有形無形の歴史的資産が重層的に重なり合い、かつての都の後背地としての北部、西部の山間地を含む広大な市域全体に京都市の歴史的風致が存在している。それらは個々の地域に留まらず、ゆるやかに結びつき、全体として京都の歴史的風致を形作っていることが京都の特徴とも言える。以下に具体の「京都市の維持向上すべき歴史的風致」を示していくが、ここでは大きく3つの考え方でテーマを設定している。

1つは、かつての洛中を中心に展開され受け継がれてきた京都のまちの都市文化である宗教文化、市民の生活文化、生業に関する文化、伝統文化を「祈りと信仰のまち京都」「暮らしに息づくハレとケのまち京都」「ものづくり・商い・もてなしのまち京都」「文化・芸術のまち京都」と題して具体事例により示していく。

2つは、かつては洛外に位置する地域として都と密接に関わってきたまちの歴史的風致を「京郊の歴史的風致」と題して具体事例により示していく。

3つは、時代を切り口として、明治時代に入り東京に遷都されて以降の近代化を推進した伝統と進取の気風に培われた営みを「伝統と進取の気風の地」と題し、示していく。

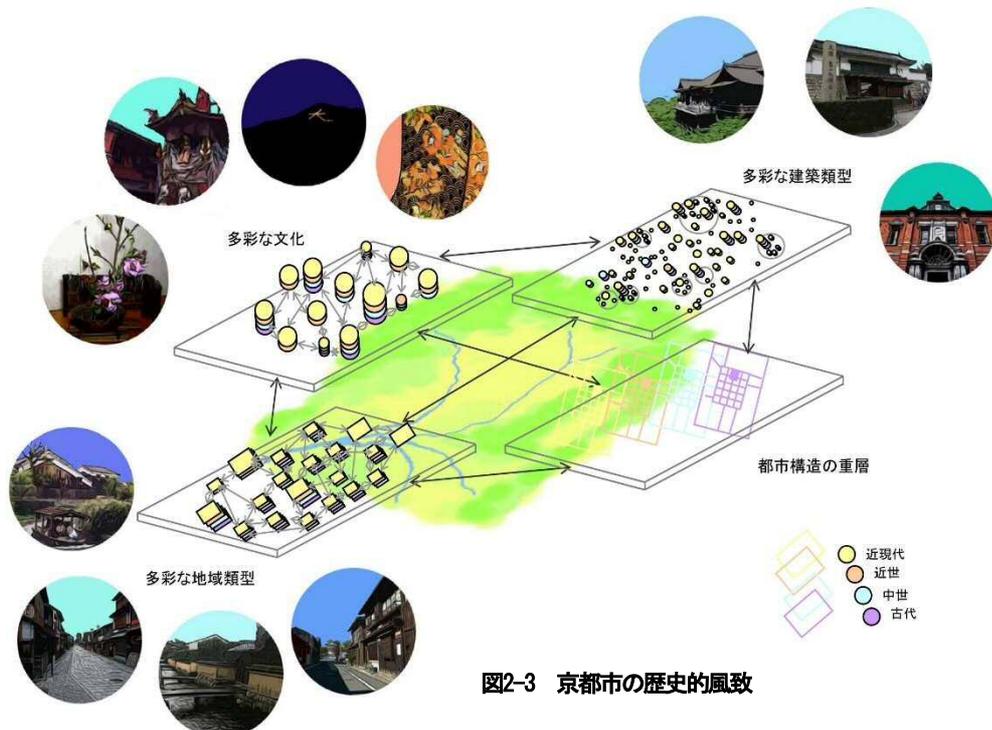


図2-3 京都市の歴史的風致